

対応方針（2025プラン）の変更(周南リハビリテーション病院)

病床機能報告における病床数（7月1日時点）			対応方針（2025プラン）の内容				備考 (対応方針の実施予定期等)		
機能区分	R6 現在	R7 予定	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数（2025）	機能区分	現行	変更後	
高 度 急性期			・回復期機能と慢性期機能を担う。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるリハビリを中心とした回復期機能の一翼を担う。 ・市町との連携強化により、地域住民への介護予防活動の積極展開により、地域との連携を図っていく。また、地域基幹病院との連携はもとより、クリニック等との連携も強化していく。 ・病棟機能強化のため、令和4年8月に病床数の見直し（回復期40→44床、慢性期170→166床）を実施済み。 ・慢性期の6床を、市内中心部に位置する同法人である徳山リハビリテーション病院へ、回復期病床として移設し地域の回復期機能強化に貢献する。 ・引き続き医療従事者の確保を、創意工夫の上を行い、回復期及び慢性期の両面で地域住民に選ばれる医療を提供する。 	高 度 急性期				・増床側の準備が出来次第、速やかに。
急性期					急性期				
回復期	44	44			回復期	44	44		
慢性期	166	166			慢性期	166	160		
休 棟					休 棟				
合 計	210	210			合 計	210	204		

対応方針（2025プラン）の変更（徳山リハビリテーション病院）

病床機能報告における病床数（7月1日時点）			対応方針（2025プラン）の内容				備考 (対応方針の実施予定期等)	
機能区分	R6 現在	R7 予定	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数（2025）			
	機能区分	現行			機能区分	現行	変更後	
高 度 急性期			・回復期機能を担う。	・今後も回復期機能を有する医療機関として、地域におけるリハビリを中心とした医療提供病院としての役割等を担っていく。 ・市町との連携強化により、地域住民との連携を図ると同時に二次医療圏の地域基幹病院はもとより、医院・クリニック等との連携強化を図る。	高 度 急性期			・増床側の当院の準備が出来次第、速やかに。
急性期				・同法人である、周南リハビリテーション病院より慢性期病床6床を減床させ、当院での回復期病床6床を増床する計画を実施したい。病院間で病床を移動する理由は、地域での患者さまの需要など考え検討した。 また、この病床移動は周南医療圏での過剰な慢性期病床を減らし、不足する回復期病床を増やすことになるため、医療分化を推進する地域医療構想に資する取り組みとして、より地域への貢献になると考えた。	急性期			
回復期	120	120			回復期	120	<u>126</u>	
慢性期					慢性期			
休 棟					休 棟			
合 計	120	120			合 計	120	<u>126</u>	